

研究者の皆様へ!

研究成果を社会還元するための 大学発ベンチャー設立前段階支援のご案内

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム

START

Program for Creating Start-ups
from Advanced Research and
Technology

【プロジェクト支援型】

大学発新産業創出プログラム（START）では、
 事業化ノウハウを持った人材「事業プロモーター」を活用し、
 公的資金による研究開発・事業育成の支援に、
 民間の事業化ノウハウ（事業戦略・知財戦略など）を組合せ、
 ポテンシャルの高い大学等の研究成果からのベンチャー設立を目指し、
 さらに持続的な仕組みとしての日本型イノベーションモデルの構築を目指します。



支援の概要

2021年度は変更される場合があります。

対象機関 国公立大学、国公立高等専門学校、大学
 (研究代表者 共同利用機関法人、独立行政法人（国立研究
 所属機関) 開発法人含む）、地方独立行政法人等のいずれか

採択件数 新規10プロジェクト程度

実施期間 原則3年度以下（最長で約2年半）

支援金額 研究開発期間が
 1.5年程度以下の場合 年間上限5,000万円
 1.5年程度から2.5年程度の場合 年間上限3,000万円

※実際の各プロジェクトの期間、配分額は、推進委員会の評価、
 事業プロモーターの判断によって決定されます。

2020年度の公募は終了しました。

2021年度審査対象の応募を
 お待ちしております（通年受付）。
 2021年度公募の詳細はWEBにて
 ご案内いたします。

【お問い合わせ先】
 国立研究開発法人
 科学技術振興機構
 START募集担当窓口
 Tel : 03-5214-7054
 E-mail :
 start-boshu@jst.go.jp



<https://www.jst.go.jp/start/>

START（プロジェクト支援型）の枠組み

大学発新産業創出プログラム（START）の「プロジェクト支援型」では、事業プロモーターと大学等の研究者をつなぎ、研究開発と事業育成を支援します。事業化に必要な研究開発、事業育成に関わる活動に公的資金を提供し、3年以内を目途に民間資金を活用しながらベンチャー企業の創出を目指します。

STARTの特徴

1. 事業プロモーターユニットと研究者が一体となり、専門人材（起業家、知財専門家等）を含めたチームを形成しつつ、技術シーズの事業化に最適な研究開発・事業化計画を策定します。（**事業化構想**）
2. 事業プロモーターの投資家視点からのプロジェクト管理のもと、市場ニーズを踏まえて、マイルストーン管理による研究開発・事業育成を行います。（**プレベンチャー段階からの事業育成**）
3. 企業価値の高い大学等発ベンチャーの創業と、プロジェクト実施を通じて民間資金の誘引を目指します。（**起業とリスクマネー獲得**）

応募について

2021年度は変更される場合があります。

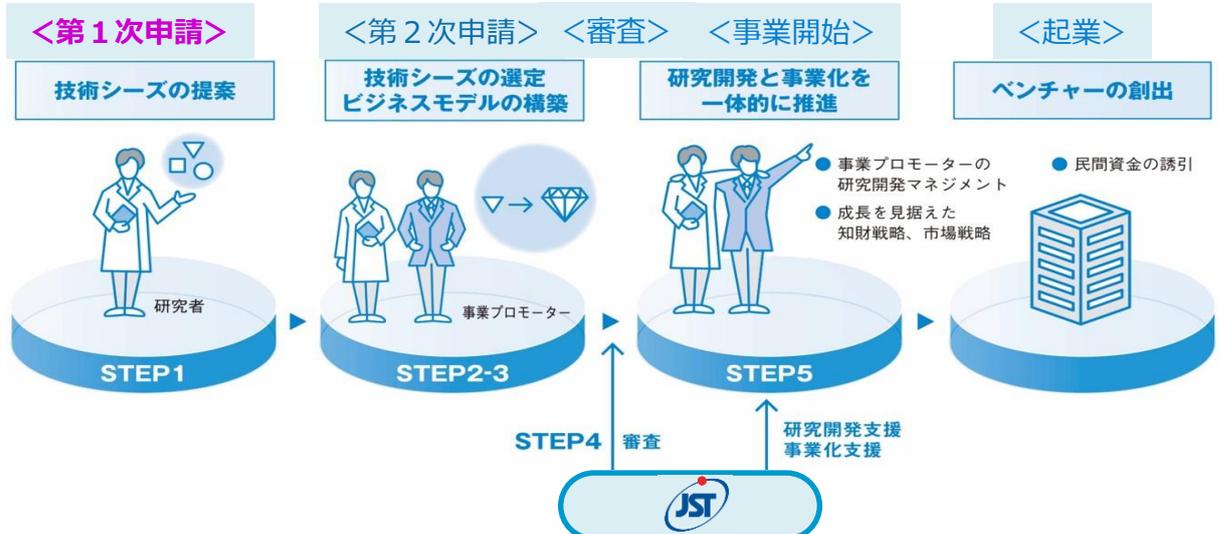
応募の主な要件

- 応募時点において、研究代表者（START実施期間中、中心となって研究開発を行う者）が、申請の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
なお、シーズとは大学等が保有している特許（出願中のものを含む）、プログラム等をいいます。
- 申請の核となる技術シーズについては、本プロジェクトを通じて創出されるベンチャー企業の実施に関して、その発明者、帰属する機関等の同意が得られていること。
- 研究代表者は、国内の研究機関に所属して当該研究機関において研究開発を実施する体制を取ること

第1次申請（通年受付中：審査は2021年度となります）2020年度審査分の受付は終了しました。

- 技術シーズの内容、事業案、ベンチャー設立への意欲、希望事業プロモーター等を所定様式に記載し、メールにて提出してください。
- JSTは技術シーズを、申請者が希望した事業プロモーターに開示します。
- 事業プロモーターの検討時間確保のため、事業プロモーターに事前相談しない場合は、早めの応募をお願いします。

実施のイメージ



「事業プロモーター」に、気兼ねなくご相談下さい！

ただし、第1次申請後の研究者側からのご連絡はご遠慮ください。

事業プロモーターについては以下をご覧ください。

https://www.jst.go.jp/start/jigyo_p/index.html